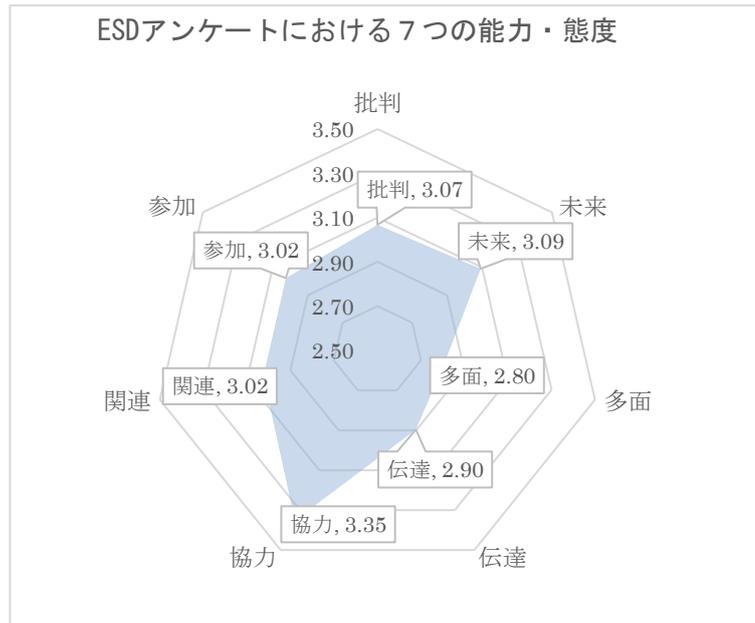




## 7 児童の実態

1学期には、国語科で扱った内容を整理し、情報活用能力として後の探究に活用できるようにした。思いや願いを言葉にし、探究の課題にすることを各教科等で繰り返し経験した。問題解決的な学習過程について徐々に理解してきている。

本校独自の ESD アンケートの結果によると、友達と互いの意見を比較・分類したり、関連付けたりすることを通して、質を高め合うことができると実感している児童が必ずしも多くないため、本単元に対話的な学習場面を意図的に設定し、児童の能力・態度の伸長を図る。



## 8 研究に迫るための手だて

### (1) 教科等横断的な単元デザイン

各教科等で身に付けた問題解決能力を生かし、発展的な問題解決や個人の興味・関心に基づいた探究を総合的な学習の時間に行う。そのために、国語科を中心に情報活用能力を身に付けることができるようにし、社会科や理科を中心に、問題解決的な学習過程についての理解を深めることができるようにする。

### (2) 思考のツールやスキルの共通化

個の活動を中心としながら、問題解決の過程の中で、児童同士の共通の思考ツールやスキルを用意することで、対話的に学びを深め、自他の考えのよさを生かすことができるようにする。

9 単元の指導計画と評価計画 (全 40 時間)

時	目標	主な学習内容	評価
1	・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだす方法を理解することができる。	・テーマ設定の仕方を知る。	・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだす方法を理解している。(発言観察)
2 3 4 5	・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだすことができる。 ・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだす方法を理解する。	・テーマを設定する。 ・必要な情報を収集する。	・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだそうとしている。(行動観察) ・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだす方法を理解している。(行動観察)
6 7 8	・課題解決の見通しをもって計画を立てる。	・収集した情報を整理・分析する。 ・情報をまとめ・表現する方法を考える。	・課題解決の見通しをもって計画を考えている。(発言観察)
9 10 11 12 13 14	・課題解決のために、目的意識を明確にして関わろうとすることができる。	・整理・分析した情報をまとめ・表現し、発信する準備をする。	・課題解決のために、目的意識を明確にして関わろうとしている。(行動観察)
15 16 17 18	・課題解決のために、自他の考えのよさを生かすことができる。	・発表会を開き、情報をまとめ・表現・発信する。	・課題解決のために、自他の考えのよさを生かしている。(発言観察)
19 20 21 22 (本時) 23	・事象を比較・分類したり、関連付けたりする思考を働かせて考えることができる。	・次にやりたいことを話し合う。 ・やりたいテーマを出し合う。 ・テーマを設定する。	・事象を比較・分類したり、関連付けたりする思考を働かせて考えている。(発言観察)
24 25 26 27 28	・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだす方法を理解する。	・必要な情報を収集する。	・自らの興味・関心や疑問、問題意識などに合わせて課題を見いだす方法を理解している。(行動観察)
29 30 31	・課題解決の学習過程を理解することができる。	・収集した情報を整理・分析する。	・課題解決の学習過程を理解している。(発言観察)
32 33 34 35 36	・課題解決のために、目的意識を明確にして関わろうとしたり、自他の考えのよさを生かしたりすることができる。	・整理・分析した情報をまとめ・表現し、発信する準備をする。	・課題解決のために、目的意識を明確にして関わろうとしたり、自他の考えのよさを生かしたりしている。(発言観察)
37 38 39 40	・課題解決のために、目的意識を明確にして関わろうとしたり、自他の考えのよさを生かしたりすることができる。	・発表会を開き、情報をまとめ・表現・発信する。	・課題解決のために、目的意識を明確にして関わろうとしたり、自他の考えのよさを生かしたりしている。(発言観察)

10 本時 (22/40 時間)

(1) 本時の目標

事象を関連付ける思考を働かせて考えることができる。

(2) 展開

時間	○主な学習内容 ・予想される児童の反応	◆指導上の留意点、配慮事項 ◇評価規準 (評価方法)
導入 10分	<p>○前時に出し合った「みんながこれから調べたいテーマ」を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなテーマを調べたい人がいる。</li> <li>・みんなバラバラだ。</li> <li>・係活動を決めるときのように、もう少しまとめられるかもしれない。</li> </ul>	<p>◆これまでに児童が出した意見を整理して黒板に表すことで、今までの学びの過程を大切に、学びを積み上げるイメージをもたせる。</p> <p>◆それぞれの探究テーマを互いに関連させることができる可能性が無いかを問い掛けることで、関連させる思考を働かせ、本時のめあてをつかませる。</p>
<p>やりたいテーマをつなげてみて、もっと面白いテーマができるかできないかを考えよう。</p>		
展開 30分	<p>○みんなが考えたテーマの中に、関連付く(つながる、合体する)可能性があるかないかについて、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科で学んだことをもっと調べて、国語で学んだ方法でまとめる。</li> <li>・糸電話に関するテーマはいくつかあるので、合体させて両方調べても面白いと思う。</li> </ul> <p>○グループで話し合ったことを全体で交流し、関連付ける(つながる、合体する)可能性があると考えたテーマを出し合い、新たな選択肢を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「虫クイズを作る」と「図鑑を作る」をまとめて、「虫クイズ図鑑を作る」というのも面白いと思う。</li> <li>・表現の仕方は、国語で学んだいろいろなことをつなげられると思う。</li> </ul>	<p>◆児童が用紙を操作できるツールを用意することで、やりたいテーマを「見える化」し、児童が用紙を動かしながら、関連させる思考を働かせることができるようにする。</p> <p>◇事象を関連付ける思考を働かせて考えている。(発言観察)</p> <p>◆交流したことを黒板に表すことで、考えたことを「見える化」させ、児童が事象同士の関連付けを捉えやすくする。</p> <p>◆時間に余裕があれば、どのテーマをしたいかを選択する時間を設け、「自分ごと化」を図る。</p>
まとめ 5分	<p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を聞いて、探究したいことの幅が広がった。</li> <li>・意見をつなげる考え方を知ることができてよかった。この考え方をこれからの学習に生かしていきたい。</li> </ul>	<p>◆関連付けて考えたことや、友達との対話を通して学んだことのよさを捉えさせる。</p>